

白石踊後継者育成事業 白石踊会笠岡支部 今月の活動（令和5年10月）

令和5年10月の白石踊に関わる中学生・高校生の活動について報告します。

1. 山陽新聞投稿文

2023年10月9日の山陽新聞に投稿文が掲載されました。

倉敷翠松高校は昨年からはから白石踊を受け継ぐ活動をしています。そして先日、白石踊会の方々が踊りの講師として来てくださいました。

まず、ブラブラ踊という踊りをみんなで踊りました。ブラブラ踊は白石踊の基本でみんなが一番最初に習い覚えた踊りです。白石踊会の方々に私たちの間に入ってもらい、少しアドバイスをもらいつつ最後まで踊りました。ブラブラ踊の後はいくつかの班にわかれてそれぞれ違う踊りを教わりました。白石踊は男踊、女踊、笠踊など13種類の踊りがあります。その中でも、私は扇子踊を教わりました。その踊りはほかの踊りよりも一つの振り付けが長く一日では習得できませんでしたが、最後まで丁寧に教えてくださいました。

私はまだブラブラ踊と月見踊の2種類しか踊れませんが、この一年で取り組んでいる扇子踊などたくさんの種類の踊りを踊れるようになりたいです。そして、白石踊を全国に広めていきたいです。

（文章：濱田咲希）

2. 定期練習会に参加して

僕は白石踊の練習に参加しています。練習では太鼓を教えていただいています。太鼓は叩く場所や足の位置、バチの持つところなどを学ぶところがたくさんあります。天野館長さんに太鼓のリズムの取り方が上達するようにと、笠踊の踊りをやってみるようにと勧められて、笠踊を習うことにしました。

最初は手の動きと足の動きが分からなくて、全然リズムと合わず、どうすればできるようになるのかと考えながら、見よう見まねで練習していました。徐々に教えていただきながら、ある程度できるまで傘踊を学び、太鼓に合わせて踊ることができたら、太鼓のリズムも分かってくるのではないかと思います。天野館長さんに認めてもらえるように、太鼓と笠踊が上手くなるようにこれからも頑張りたいです。そして白石踊をたくさんの人に知ってもらいたいです。

（文章：横手 晶）



以上